

# 秋田県知事・秋田労働局長からの 新規高卒者求人要請



【藤原会長に要請書を手渡す佐竹知事】

去る、6月13日 秋田県商工会館に於いて、秋田県、秋田労働局から経済5団体に対して新規高卒者求人への要請があった。

佐竹知事、小林労働局長からの要請内容は、将来を担う優秀な若者が一人でも多く県内に就職できるよう、採用枠の拡大と早期求人提出について会員企業に対し周知して欲しいとのお願いであった。

会員企業の皆様のご協力、よろしく申し上げます

謹啓 時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

貴団体を始め傘下企業の皆様には、本県における雇用労働政策の推進につきまして、日頃より格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、今春、県内に就職を希望した多くの高校生、大学生等が社会人としての第一歩を踏み出すことができましたのは、貴団体を始め事業主の皆様が、雇用の維持・拡大、早期求人提出に取り組まれた成果と、深く感謝申し上げます。

さて、全国的に景気は、有効求人倍率が1倍台で推移するなど、各種の政策効果もあって、一部に厳しさが見られるものの、着実に改善がすすんでおりますが、本県においては、有効求人倍率は近年に無く高い水準で推移しているものの、全国水準には及ばず、先行きの不透明感もあって雇用を取り巻く環境は依然として厳しさが残っております。

一方、今春の新規高校卒業者の就職環境は、事業主の皆様より数多くの求人を早期に提出頂いた効果もあって、早い時期から就職の内定を得られた生徒も多数見受けられたところですが、全国的に求人数が増加した背景などもあり、県内への就職者数は減少しております。

本県にとって、若者の県内定着は、県内企業の発展はもとより、活力ある地域社会の形成のためにも、喫緊かつ重要な課題であり、秋田県並びに秋田労働局といたしましては、関係機関等と一体となって、若者の県内定着と雇用環境の整備に向けた施策の充実に努めてまいりたいと考えております。

来る6月20日からは、来春の高校卒業予定者に対する求人受付が開始され、大学等卒業予定者に対する求人受付も、既に3月1日から始まっております。

貴団体におかれましては、この時期を各企業の将来を担う優秀な人材を確保できるチャンスと捉え、若者が一人でも多く県内に就職できるよう、採用枠の拡大と早期求人提出について、傘下の企業に周知していただくようお願い申し上げます。

末筆ながら貴団体と傘下企業の一層の御発展をお祈り申し上げます。

敬白

平成26年6月13日

一般社団法人秋田県経営者協会

会長 藤原 清悦 様

秋田県知事 佐竹 敬久

秋田労働局長 小林 泰樹

